

# 日中水環境パートナーシップ

20'予算(案)額191百万円(19'予算額33百万円)

平成19年4月の日中環境保護協力の強化に関する共同声明において水質汚濁防止に関する協力が盛り込まれたことを受けて、低コストな分散型排水処理施設や浄化槽などの水管理技術に係る適用可能モデル事業を行い、現地に合った水環境管理体系を構築する日中水環境パートナーシップを推進します。

## 中国における水環境問題の現状・課題

- ① 下水道等の污水处理施設や工場排水処理施設の未整備による水質汚濁
  - ② 工場などの突発事故に伴う水質汚染
  - ③ 水需要の増大による河川流量不足
- 等 } 水環境問題が深刻化



「国民経済と社会発展第十一次五か年計画」  
(2006年3月策定)

【目標】化学的酸素要求量(COD)等  
主要汚染物質の10%総量削減

日本国政府及び中華人民共和国政府による環境保護協力の一層の強化に関する共同声明(平成19年4月)

「一、飲用水源地保護を強化し、河川・湖沼・海洋・地下水の汚染を防止し、特に渤海、黄海区域及び長江流域などの重要水域における水質汚濁防止について協力を実施する」

## 日本の水環境政策協力

平成18年度

『水質汚濁等問題解決に向けた調査等支援事業』開始(日中共同調査)  
・中国北部の流域における水質汚染状況を中心とした環境状況調査  
・水環境に係る課題分析

平成19年度

・長江流域等における水環境管理上の課題調査・分析及び18年度調査結果も含めた政策提言  
・分散型污水处理施設の評価及び導入の検討  
・水環境管理に関するフォーラム、政策対話の実施

工場等の点源からの排水対策の他、飲用水源地周辺地域等の面源汚染対策等も含めた、総合的な流域の水環境管理による抜本的な水質改善が重要

## 日本の経験や技術を活かした今後の協力の方向性

### 工場排水対策

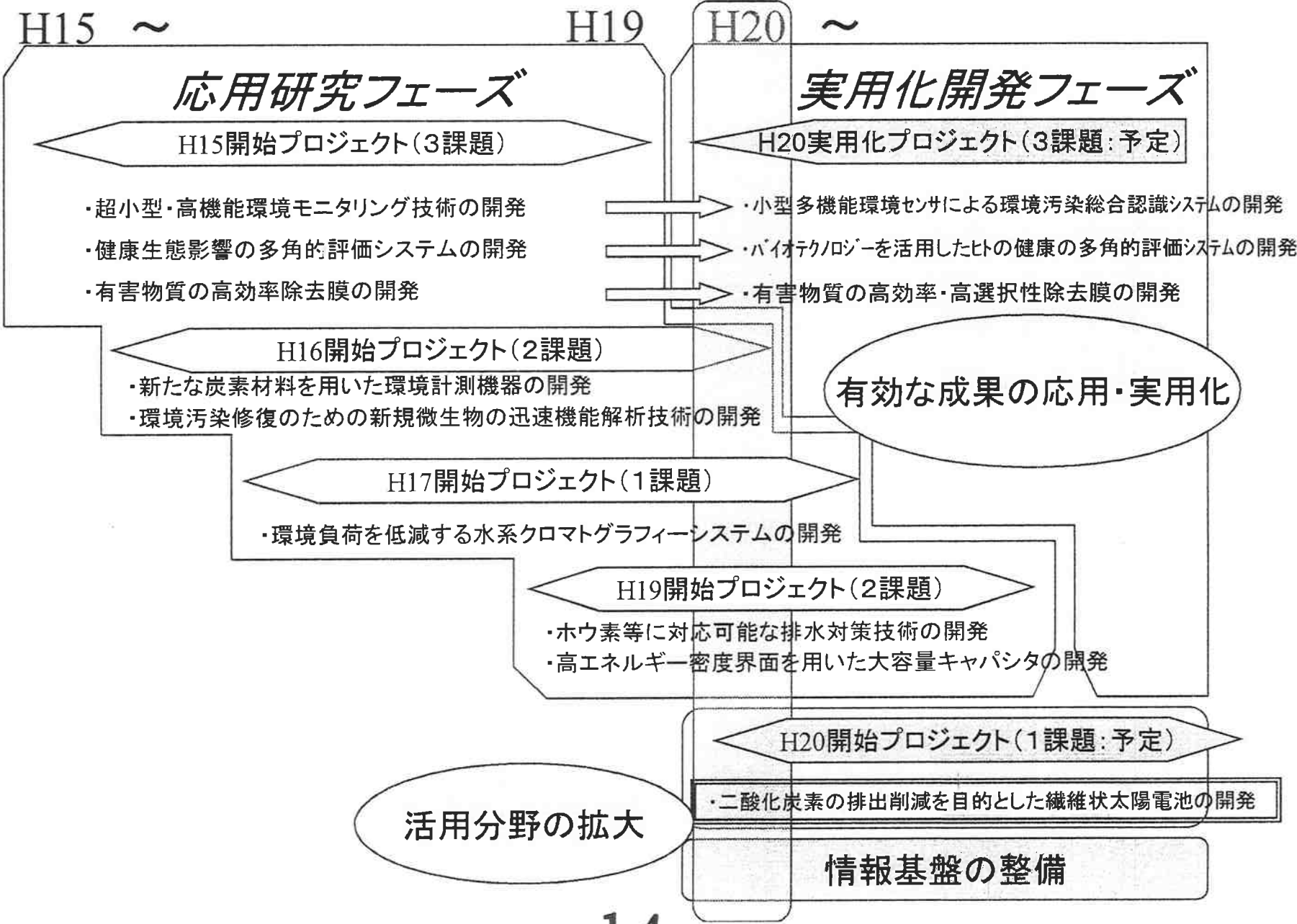
- ・規制の適切な運用
  - ・総量規制の導入
  - ・工場の管理体制の構築等の検討に係る協力
- 【政策対話による協力】

### 生活排水対策

- ・中国において下水道整備が適さない地域等における生活排水対策の促進策等の検討に係る協力
- 【政策対話及び実証調査による協力】

中国における河川、湖沼、地下水等の水環境保全の推進

# 事業実施期間(応用研究／実用化開発フェーズ)の説明



# 地球温暖化対策技術開発事業（エネルギー対策特会）

- ・早期の実用化に向けた温暖化対策技術の開発、実証
- ・中長期的視点から、経済社会システムの変革を促す基盤的な技術の開発の両面から、CO2削減につながる技術開発を委託・補助により支援。  
委託・補助先は公募により選定。

## ◇バイオマスエネルギー等戦略的温暖化対策技術開発（委託事業）

イノベーション25において社会還元加速プロジェクト、及び研究開発ロードマップに位置づけられた技術開発に対する支援。

- ・社会還元加速プロジェクト  
【環境エネルギー問題等の解決に貢献するバイオマス資源の総合利活用】
- ・研究開発ロードマップ  
【効率的にエネルギーを得るための地域に即したバイオマス利用技術】  
【先端燃料電池システムと安全な革新的水素貯蔵・輸送技術】

- (1) バイオマス資源総合利活用システム  
技術開発
- (2) 革新的水素貯蔵・輸送技術

## ◇地球温暖化対策技術開発事業

○重点的に取り組む技術開発（委託事業）  
地球温暖化対策に資する基盤的な技術開発に対する支援。

- (1) 省エネ対策技術実用化開発
- (2) 再生可能エネルギー導入技術実用化開発
- (3) 都市再生環境モデル技術開発
- (4) 循環資源由来エネルギー利用技術実用化開発

○製品化技術開発（補助事業）

技術開発委託事業の成果等により製品化が十分に期待できる地球温暖化対策技術に係る技術開発・技術実証を行う。